

神戸国際支縁機構(KISO)季刊誌

【発行人】 岩村義雄 〈携帯 070-5045-7127〉
【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区狩口台5-1-101
Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939
E-mail:kiso@mbe.nifty.com

【石巻支所】樋口多恵子
〒986-0834 宮城県石巻市門脇町2-5-7
【熊本支部】大島健二郎
〒862-0939 熊本市東区長嶺南4-4-27
【千葉支部】嶋田博信
〒294-0234 千葉県館山市布良303

年4回 2月、5月、8月、11月
購読料 一部320円+送料80円(年ぎめ 1,600円)

2025年度全国キリスト教障がい者団体協議会 修養会・総会

キ障協で120分話す岩村義雄

2025年7月7-8日、ANAクラウンプラザ神戸ホテルのラベンダーホールで、「全国キリスト教障がい者団体協議会」主催の総会＆講演がありました。岩村義雄は講師としてミヤンマーにおける2021年の国軍によるクーデター後の実情を被災現場、支縁の在り方を話しました。軍事クーデターにより、戦火を逃れた国内避難民は320万人です。国土の3分の1しか軍事政権は掌握できていません。昨年2月から徴兵制が敷かれました。イスラエル政権に負けず劣らず、イスラーム教のロヒンギヤ民族に対するジエノサイド「集団殺害」、民族浄化、生活破壊が繰り広げられています。ミヤンマーの最大の被災地であるマンダレーに外国からの支縁は届い

2021年2月1日の国軍クーデターにより、ミャンマーでは多くの無辜の民が殺され、投獄されました。2025年3月28日、古今未曾有の大地震⁽²⁾（マグニチュード7.7）により、古都マンダレーは瓦解しました。90パーセントが仏教徒の国ではイスラーム教徒、キリスト教徒は少数派です。とりわけイスラーム教徒には復旧、復興、再建について国は後回しです。日本からボランティアに訪れたイスラーム教マンダレーのポウォー村に「公助」はありませんでした。

私たち神戸国際支縁機構の岩村と、「カヨ子基金」代表佐々木美和は、家族、住居、隣人を失った村民に笑顔で寄り添います。村はイスラーム教徒ばかりです。イスラームの人たちは温かいです。一方、軍政はこわいです。そんなミヤンマーで何もたいしたことができていません。「しゃべくりより現場での実践」、「小さくされた人々」に仕える働きです。

ボランティアは戦争で父親を失った孤児、何もかも無に帰した被災地で無力感が漂う「貧しい人」に「福音」を携え、寄り添います（イザヤ61:1）。

「無知」は罪です。生きとし生けるものが等しく生きるはずのいのちが戦争、貧困、病気などによって脅かされるならば出て行かねばなりません。「小さくされた人々」への「無関心」の壁があります。「この最も小さな者の一人にしなかったのは、すなわち、私にしなかったのである」とキリストは言われました。



ミャンマー国ヤンゴン
空港に降り立つ。
2025年6月14日(土)
午前10時35分。

全国キリスト教障がい者団体協議会

でていません。古都で観光地であるマ
ンダレーの有名な寺院も軒並み崩壊
していました。靴などだれもはいて
いませんでした。岩村は現地で「は
だしのアンクル」と呼ばれています。
ボランティアで仕えるのは、獄に
投獄されていたり、貧しさから脱
却できない人々、障がい者、被差別部
落だけではありません。差
別された生には、在日朝鮮
人、アイヌ難
民、琉球や、
難民がいらっ



庄司会計事務所
税理士 庄司慈明
税理士 齋藤 茂
石巻市蛇田字中坪 21
0225-93-8743

だれでもが「イネ」をつくれる国に 変えよう

熊本支部長 大島健二郎

自民党的農林族の議員は、お百姓さんのコメをつくる意欲を削いできました。減反はコメの生産を減らして、米価を上げてきました。政策です。私たち消費者を苦しめてきました。コメの値段が高く、手が届きません。

一時的に「備蓄米」をばらまいても、農に魅力がありません。私たち素人は、東北ボランティアでは「復幸米」を15回。ここ球磨川の氾濫した地では、5回目の「田植え」に園児たちと取り組んで、被災地の地域に根を下ろしています。

5反以上でないと農地が買えないシステム

ム。そんな広い農地ならば、2千万円以上の資金がなければ農業機械を買えません。「農」に転職できない制度から脱皮すべきです。日本は食糧、農家、地方切り捨てのたために減びます。次の世代に、子どもたちが「農」ができる国に変革しないと日本列島は世界地図から消えます。

「ぴーちゃん」との出会い

7月1日、人吉市なつめ保育園（緒方真喜代理事長）の駐車場でとんびを発見。勢いよく飛び立たないので朝日温泉（鳥越肖男氏経営）で知り合った獣医の黒木征二先生に連絡をとります。診察してくださいとの返事をいただきました。病院へ連れて行きます。黒木先生はなつめ保育園卒園の2回生でした。緒方園長が「黒木君に診てもらつたら大丈夫」と言われた時には、思わず口元が緩みました。たまたま来ていた病院の大塚獣医の子どもさんは好奇心から見にくるもののこわくて泣き出しました。

回復のために注射を打つてもらいました。水を口から吐きました。相良への帰途、元気になりました。村上本部長も水を替えた「ピーヒヨロロ」と甲高い声で何度も鳴き、世話をしました。その夜は、神戸国際支縁機構のハイエースで安静にして私たちと一緒に過ごします。翌日の7月1日、地域振興課で黒木先生と待ち合わせし、行政が預かることになりました。短い期間でしたが、家族として愛着がわき、大きな目と向かい合えるくなる別れの段になると、寂しく、感傷的になりました。



とんびを診察する黒木征二獣医

『真平家物語』鬼山御前(3) (第十五回)

熊本県緒方医院院長 緒方 俊一郎

鬼山御前は宗治との生活が楽しくなるにつれて過去の悲しい思い出にふけった。

元暦元年（一一八五）一の谷で父が戦死し、壇ノ浦より豊後を経て日向へ逃げ惑う中、日向の国今佐村で力尽きた母を亡くした。

このことについて那須宗治の末孫である那須金兵衛氏は「鬼山御前の石碑に「日向國中野郡今佐村」とあるのは、鬼山御前が数か月暮らした土地で、父や母の骨を埋めた故郷とのことです」と述べていたという。金兵衛氏は、「鬼山御前は夫婦の仲もよく、保口の現在の那須弘美さんの屋敷に住んでいたもので、屋敷の先に鬼山御前の使い水や洗濯水が残っています」、また「那須弘美氏は那須与一の直系で、那須金兵衛氏や那須義行氏はその分家でもある」と話していたという。

那須弘美氏は鬼山御前について「とても美人で乳の出が多かった。その上乳房が一尺くらいあつたそうで、近所の貰い乳にも喜んで与え、多くの子供を育てたそうです」。保口の人々は鬼山御前の徳を慕って社を建てて祀り、毎年十月十四日には祭礼を行ってきたという。また、乳の神様として、乳の出の悪い母親は参拝すると乳の出がよくなるといい、お参りして乳の出がよくなつた人はお礼として幟を寄進している、という。

ところで、弟の久茂は岩奥の中腹に居住していた。ある時下岳村の地頭係のために矢山岳より岩奥の方を眺めると白い布が目についた。地頭は川伝いに彼の住居を訪ねると、久茂は敷居を枕に昼寝の最中であった。地頭は刀を抜いて久茂の首を切つてしまつた。鬼山御前はこれを聞き、那須与一を呼び寄せ、仇を取ると騒がしが、果たしえなかつた。

肥後国誌に「那須与一の一族に鬼山御前という女あり、岩奥に居住してより人口繁栄して」と記載がある。元平家の一族であった鬼山御前は与市の嫡男宗治の妻となり、源氏の末孫となつた。

岩奥の古老に「昼寝するなら敷居を枕にして寝るな」と言い伝えられているのは、この故事によるものである。



代表取締役 三木 晴信

〒130-0021 東京都墨田区緑3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp

近畿良きパートナーを目指して
設計 住宅・教会・福祉施設など
監理 一級建築士 南 俊治

□ 神戸市中央区八幡通4-2-10-201
□ K: 090-6983-4377
□ E-mail: CQNO5405@nifty.com

南俊治建築研究所
<http://www.nanomori-architect.com>

弁護士法人
芦屋西宮市民法律事務所



津久井 進

日弁連災害復興支援委員会委員長
兵庫県弁護士会前会長

TEL: 0798-68-3161

ミヨシ共栄株式会社

東京都墨田区緑3丁目8番12号

みんなちがつてい い

本部長 村上裕隆

足の向くまま、気のむくまま仙台駅。そこが最終ではなく、宮城県石巻市渡波。冬は雪が積もります。海の風が襟から入つて来ます。漁師浜などが生活圏です。田口政夫さん（84歳）は渡波の秋葉神社の軒下に行けば、お会いできました。（『牡鹿新聞』（2025年7月4日付）。5月26日以降、仙台に移動されました。あの東日本大震災の時、避難所になった伊去波夜和氣の命神社の温かい思いやりがあります。大國龍笙宮司（79歳）は、「みんなちがつていい」と言われます。5月5日は、「どんと祭」の開催日でした。私たちは田起のために参加できず、終わつた時間帯に顔を出しました。地元だけではなく、横浜から毎年15人ほどが13年間、通われて気勢を上げておられました。お世話される地元の女性たちがいます。はつぴなど洗濯して干したり奉仕されました。当時幼稚園児（今や中2、小4、小2）のトロトロ層づくり、田植え、稲刈り、天日干し、脱穀や収穫祭でご一緒に坂本春菜さん（33歳）がおられました。2週間後、園児たちとトロトロ層づくり、田植え前にさやこ（ねぎ）に祝詞をあげていただきました。

ぶきといつしょに顔、服、友だちにかかります。だれも怒つたりするどころか、笑っています。第160回目の渡波訪問（2025年6月18～22日）の際、地元の新聞には、2025年現在、地球上で武力紛争が約60ヶ所でなされていると報じています。相手を許さないのです。ここでは、みんな笑っています。コメをつくれば怒つたりしません。和が広がります。コメづくりをしなくなつたせいでしょうか。「コメが店頭になくなつてしまつた」、「もうだれもコメをつくつていない」、「コメが高すぎる」と日本中が大騒ぎをしています。政治家が「コメ買つたことがない」と言うのを聞いて、みんな怒つっていました。和を大切にしてきた日本の良さを忘れてしまつています。子どもたちはそんな重苦しい空気を吹き飛ばす勢いがありました。やはりコメを食べましょう。

園児たちの中には、一旦帰宅後、再び田んぼにやつて来られました。清川夏七葉さん（5歳）、涅檜斗さん（4歳）は、どうようと、ザリガニ、めだかを自宅に持つて帰り飼育されています。無農薬、有機、除草剤なしだから生き物も豊かです。

『牡鹿新聞』(2025年5月23日付)

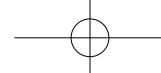
ベトナム人との友好

31年ぶり、
ゼロから翻訳した新しい聖書
『聖書 聖書協会共同訳』
-2018年12月発行-

全国書店にて
好評発売中です
www.bible.or.jp
日本聖書協会



人によし、社会によし、未来によし。
 **ミヨシ油脂株式会社**
〒124-8510 東京都葛飾区堀切4-66-1
<http://www.miyoshi-yushi.co.jp>



事務局便り

理事長 本田寿久

にわかに日本の大学も軍事研究に走っています。政府、企業、自衛隊だけではありません。大学は軍事研究に27億円の助成をもらひ戦争目的に向かっています。5月10日、兵庫県芦屋神社で平和の集いがありました。山西康司宮司は代々神官の家系です。宮司は宗教者が自分たちの信心だけを唯一と考えるのではなく、他の宗教との和合によって眞の平和な関係が構築できることを語られました。岩村義雄牧師も、対話、非武装、憲法9条が平和の鍵と語るスピーチをさせていただきました。他に自民党の議員は隣国から国を守るために威勢の良い発言をなさいました。会場は緊張しました。違和感がありました。日本の子どもたち、孫たちを戦場に行かせたいのかと不安を抱かせました。

日本は「和」の国と言わされてきました。のぎへんの「イネ」+「口」を昔から食べて、平和を愛してきたのです。隣国からの攻撃に備えて、軍備が必要だなどと言う大人は日本の将来を担う子どもたちの模範にはなれないでしょう。

やはり政治家の権勢によらず、宗教者こそが平和な社会、国、世界を築き上げる責任を委ねられていると認識し合う会合になりました。次回は8月30日です。

戦争がない平和を喜びたい



『神戸新聞』(2025年5月3日)

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

・郵便振替

口座 00900-8-58077

加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

・三菱UFJ銀行

462(三宮支店) 普通 3169863

神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には書ける方は『国名』を書き添えてください。

(一社)神戸国際支縁機構

ボランティアや移住者募集中

農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。

被災地への支縁物資もお願いします。

年会費をお願いします。(月に200円)

会員(年度4月~翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

海外の孤児のために支縁金をお願いします。

「小さくされた人々のための福音」講座

毎月第3金曜日 午前10時~
神戸学生青年センター 本館1階

岩村義雄セミナー

毎月第4月曜日
午後6時半~
ミント神戸17階すっかり変わった
星野亜門さん(右)

3年ぶりでしょうか、風雲児星野亜門さん(32歳)と再会しました。大阪市南に位置する西成です。岩村は2005年、金徳化牧師から神学生に組織神学を教えるように頼まれた近くです。韓国人が校長のユニオン神学大学です。当時教え子であったメンバーで現在は牧師をされている方もいます。釜ヶ崎にはドヤ街(ドヤは宿の反対)がありました。炊き出しほランティアに神戸国際支縁機構の大学生たちも通いました。その中の3人の大学生(山本智也、柴笠雄輝、中田悠一)たちが加わり、2011年3月、第1次東北ボランティア(現在161次)が処女雪を蹴りました。

大阪大学を卒業した星野さんは作家を目指していました。3年前が初対面です。どん底の地獄にまみれておられました。無気力でコミュニケーションができませんでした。今年、5月1日に再会しました。彼は変身しておられました。今や、文章を書くもの有名になることなど屑、あくたと考えるようになっておられました。今は西成の飛田新地の貧民窟に生活しながら、貧者、精神的障がい者、失業者から慕われている牧者でいらっしゃいます。

神戸市の西側に住む、「はだしのアンクル(おっさん)」と呼ばれる無冠の岩村も、彼も同じような生き方をしておられます。富とは無縁です。無名です。信者を増やすことなどぜんぜん考えていない無力な教会で満足しています。

故に、無二の友であります。

救援金、維持会費のご協力を感謝します。(敬称略)

2025年4月20日~7月19日

530,152 円

佐々木美和、岩村義雄、庄司慈明理士事務所、近畿産業信用組合、ハート基金(コープこうべ災害緊急支援基金)、本田大輔、泉とも子、ミヨシ共栄株式会社、山本陽子(3)、堀川繁子、前川和弥&幸子(4)、沖浦宏隆(千葉県布良)(3)、村田義人、河内常男、村田充八、西堀元、千葉幸一(宮城県石巻市)(5)、坂井純人、小久保玲子、本田寿久(2)、丹野恵子(宮城県石巻市)、兵頭晴喜、西本玲子、糸井佳子、重元勝、木村ふみ子(宮城県石巻市)(2)、成和成朗、東田寿啓、原浩司、青木、日本バプテスト同盟西岡本キリスト教会、緒方真喜代、久原満里子、日本キリスト教団芦屋三条教会、石井泰代、有田貞一&美榮子(3)、東灘バプテスト教会、宮氏道夫、大島健二郎、土手ゆき子、土手朋、日本開拓伝導団 京都教会、大槻紀夫、平松幸子、中山圭子、森一郎、李俊熙、高橋精巧、野田健二、黒田一美、北村恭男、廣森勝久&孝子、鄭恵姫、中道澄春、平井一嘉、尾島淳義、大鳴善直、柳澤豊、塗光子、緒方真喜代(熊本県相良)、池田裕子、辻本久夫、姫田光義、佐々木駿介、栗原健(宮城県仙台)、土森靖佳、川井浩三、三原千草、佐々木駿介、伊藤直樹、伊藤ヨシ子(茨城県日光市)、矢野寛子、八尾和樹、阿部艶子、坪川佳史(石川県金沢市)、大島修、大島敏子、永野由美子、小林万里子、小谷福智(千葉県布良)、相浦恵子、(株)大塚製薬工場、羽柴修、大西孝、泉晴代、神戸聖福教会、李敬淑、合同会社 Bless 泉真姫、オリーブの木キリスト教会、ミヨシ油脂(株)、福寿恵美、星野尚子、岩本久吉&真子(福岡県松末)、川上義和、高島邦夫、藤原りづ子、高野國昭、日本基督教団神戸栄光教会、梅木博光(金光教多良木教会長)、全国キリスト教障がい者団体協議会、佐藤紀子(宮城県多賀城市)、杉山雅崇、吉俣正光、吉持志保、明石バプテストキリスト教会、川崎栄子、鳴田博信&礼子(千葉県布良)。

支縁を感謝します。

フードバンク関西、前川和弥&幸子(2)、本田寿久からおにぎり、佐藤金一郎&晴美(宮城県渡波)からオロナミン、本田巧&敏子(宮城県石巻市)から海苔、木村勝&木村ふみ子(宮城県石巻市)から民芸具、山本勝から野菜、糸井佳子から美術作品、阿部勝徳(宮城県石巻市)から缶コーヒー、清川和麿(宮城県石巻市渡波)から飲料、石巻地区森林組合からコーヒー、アンニヨン・フェスティバルから弁当、徳留由美から昼食、友田謙吾(熊本県相良)から写真、農具等、緒方礼子(熊本県相良)から茶菓、なつめ保育園(熊本県相良)から茶菓、森口正美(熊本県相良)から苗運搬、松木地域コミュニティ協議会からコーヒー、梶原ミドリ(福岡県朝倉市松末)からカキドオシなど、梶原ミスミ(福岡県朝倉市松末)からカキドオシなど、梶原ミスミ(福岡県朝倉市松末)からカキドオシなど、水谷弥生からガレットなど、北村恭男からタマネギ、じゃがいも、Henry Chang(Yangon)から朝食、Wai Myo kyaw(Yangon)から装身具など、Daw Nwe Zin Htike(Mandalay)から茶菓、ウインゾー&マンニイ(Mandalay)から昼食、WinNaing(Mandalay)から夕食、ゾーンウエジンタイク(Mandalay)から昼食、無名(マンダレー)から軽食、黒木征二(熊本県人吉市)からとんび治療代など、菱毛良介&かず子(熊本県熊本市)から菓子、本田寿久から昼食、全国キリスト教障がい者団体協議会からコピー、小谷登志江(千葉県布良)から飲物、小谷福音哲&由喜枝(千葉県布良)から茶、鳴田礼子から装身具、小林万里子から根付け、横山恵子からチケット。